



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-54

(2022. 7. 13)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の個人預金口数の動向 (2021 年度末)

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

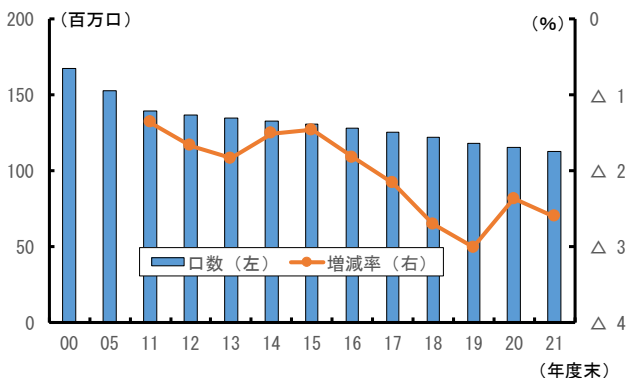
- 2021 年度末の信用金庫の個人預金口数は、前期比 2.6%、301 万口減少の 1 億 1,260 万口となった。2011 年度末との比較では、19.2%、2,683 万口の減少となる。
- 地区別の個人預金口数は、全 11 地区で 2011 年度末を下回った。北陸、中国、東京などの 5 地区で 2 割を超える減少を示した一方で、四国は 1 桁台の減少に留まった。
- 信用金庫別の個人預金口数を 2011 年度末と 2021 年度末で比較すると、増加が 7 金庫に対し、減少は 247 金庫に達した。
- 2021 年度末の信用金庫別の個人預金口数は、①20 万口未満が 89 金庫、②20 万～40 万口未満が 75 金庫、③40 万～60 万口未満が 28 金庫、④60 万口以上は 62 金庫となる。

1. 全国の場合

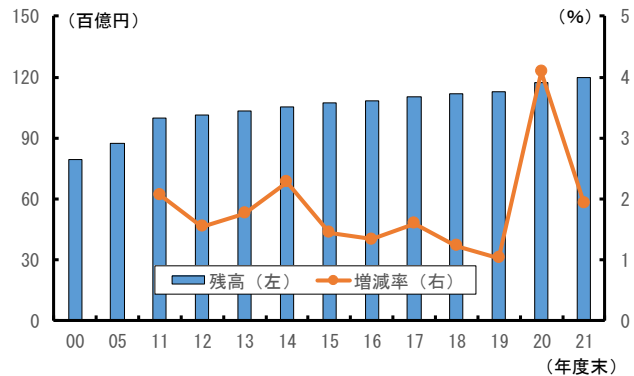
2021 年度末の信用金庫の個人預金口数は、前期比 2.6%、301 万口減少の 1 億 1,260 万口となり、23 年連続で前期を下回った (図表 1)。人口減少に加え、口座開設時の本人確認の厳格化、休眠預金の解約増などから個人預金口数は減少傾向にある。

一方、個人預金残高は増加傾向にあり、2021 年度末には前期比 1.9%、2 兆 2,636 億円増加の 119 兆 5,694 億円に達した (図表 2)。個人預金残高は、新型コロナ対策の特別定額給付金などにより残高が大きく伸びた前期 (4.0%増) に続き相対的に高い伸びを維持した。また口数が減少するなか残高が増加しているため、1 口あたり個人預金残高は 2011 年度末の 71.6 万円から 2021 年度末には 106.1 万円に 48.1%増加した。

(図表 1) 個人預金口数の推移



(図表 2) 個人預金残高の推移



- (備考) 1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
3. 図表 1 から 5 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

地区別の個人預金口数は、全11地区で2011年度末より減少した。北陸が28.3%減、中国が24.1%減、東京が24.0%減などとなる一方で、四国は9.4%の減少に留まった。なお、1口あたり個人預金残高は、東京の134.6万円から南九州の64.9万円まで約2倍の開きがみられた。

(図表3) 地区別の個人預金口数

(単位：万口、%、万円)

地区	00年度末	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	11年度末対比		1金庫あたり 口数	1口あたり 残高
						増減数	増減率		
北海道	726	696	652	538	522	△129	△19.9	26.1	112.7
東北	796	734	672	549	531	△140	△20.8	19.6	81.5
東京	2,559	2,262	2,008	1,578	1,525	△483	△24.0	66.3	134.6
関東	3,498	3,068	2,805	2,298	2,221	△583	△20.8	45.3	104.2
北陸	586	546	479	358	343	△136	△28.3	22.8	90.3
東海	3,304	3,120	2,918	2,498	2,486	△432	△14.8	73.1	102.9
近畿	3,013	2,835	2,586	2,210	2,144	△442	△17.0	73.9	115.1
中国	937	846	752	591	571	△181	△24.1	28.5	90.2
四国	366	336	331	305	299	△31	△9.4	29.9	87.0
九州北部	372	333	296	249	241	△54	△18.2	18.6	83.7
南九州	544	498	421	364	354	△67	△15.9	27.2	64.9
全国	16,734	15,298	13,943	11,562	11,260	△2,683	△19.2	44.3	106.1

(備考) 沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

信用金庫別の個人預金口数の増減状況を2011年度末と2021年度末で比較すると、増加は7金庫(構成比2.7%)に留まり、減少が247金庫(同97.2%)に達した(図表4)。

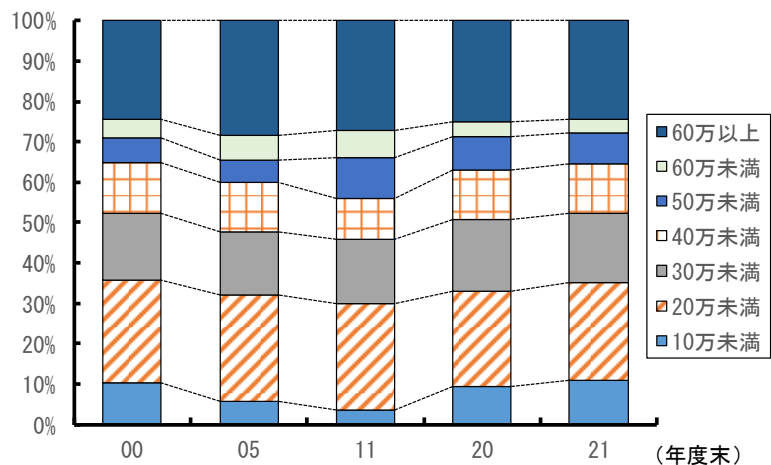
2021年度末の信用金庫別の個人預金口数は、①20万口未満が89金庫(同35.0%)、②20万~40万口未満が75金庫(同29.5%)、③40万~60万口未満が28金庫(同11.0%)、④60万口以上は62金庫(同24.4%)となる(図表5)。2011年度末の構成比と比べると、10万口未満が3.6%(10金庫)から11.0%(28金庫)に上昇している。

(図表4) 個人預金口数の増減状況
(11→21年度末)

(図表5) 信用金庫別の個人預金口数

(単位：金庫、%)

分類	金庫数	割合
増加	7	2.7
20%以上	2	0.7
10~20%未満	1	0.3
5~10%未満	2	0.7
1~5%未満	1	0.3
1%未満	1	0.3
増減なし	0	0.0
減少	247	97.2
1%未満	1	0.3
1~5%未満	7	2.7
5~10%未満	16	6.2
10~20%未満	100	39.3
20%以上	123	48.4
全国	254	100.0



以上

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。